

# for your Collection

「クラシック音楽」

& Asahi Shimbun Digital 【and】

朝日新聞  
DIGITAL

2015年4月22日 片山杜秀、金澤正剛、諸石幸生、矢澤孝樹の4氏が合議で選びました。※タイトルから買い物サイト（一部輸入盤）にリンクします（一部適用外）



IX〜クセナキス：プレイアデスほか  
加藤訓子（リン）

数学的知と古代の呪術性が軋（きし）みあう20世紀の作曲家の打楽器曲2題。奏者の強靱（きょうじん）な身体は複雑なリズムを快に変え、響きへの鋭い感性は音楽を何倍にも豊かにする。解放の喜びに満ちたクセナキス。（矢）



ブラームス：セレナード第1、2番  
シャイー（ユニバーサル）

現代イタリアを代表する名指揮者が繰り広げる若きブラームスの世界。澁刺（はつらつ）として輝かしく、従来の作品イメージを一変させる。手兵ゲバントハウス管弦楽団の音色と表現意欲も素晴らしい。（諸）



可愛いナンシー 18世紀のギター音楽

竹内太郎、野々下由香里ほか（コジマ録音）

浜松市楽器博物館蔵の3種のギターに声やチェンバロを交え変化に富んだプログラム。楽器の特徴をフルに生かし、即興演奏も交えてリズム感溢（あふ）れる見事な演奏が実に楽しい。（金）



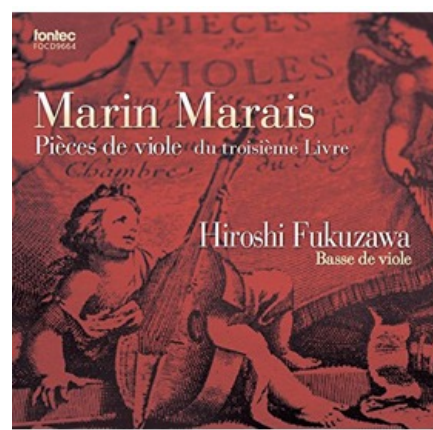
フランス革命時代のフルート協奏曲集  
パユ（ワーナー）

革命で人間も音楽も変わる。優雅さや節度はもう要らない。生々しい感情の吐露。誰にも伝わる大きな身ぶり。そんな革命的感性がパユに憑依（ひょうい）。ドヴィエ



ボッケリーニ：6つの小弦楽三重奏曲  
若松夏美、モレーノ、鈴木秀美（グロッサ）

柔らかな色調のゴヤの風俗画のような、18世紀末マドリッドの空気が蘇（よみがえ）る。貴族たちの優雅な語らい、伊達男



マラン・マレ：ヴィオール曲集第3巻  
福沢宏（フォンテック）

穏やかで快い旋律の流れと優雅な雰囲気。ストラディバリと同時代のマレだが、バイオリンとは対照的な優しいヴィオールの音色。これぞイタリアのバロックとは別世